



家庭児童相談室の窓から

2007年に観た映画のなかで最も印象的だったのは『パンズ・ラビリンス』（ギレルモ・デル・トロ監督）という作品でした。1944年のスペイン、少女は母が再婚したため、母と共に新しい父の住む村にやってきます。ところが、その義父は独裁政権を支える残忍な大尉で、捕まえたゲリラを拷問し、罪なき村人を殺し、家族にさえ情愛を示しません。そんなとき、少女は妖精と出会い、3つの試練に耐えれば魔法の国に行けると知り、その試練にチャレンジするのです。

映画は義父の残酷な暴力と不気味な迷宮での冒険が交互に描かれながら進み、どちらも身が縮むような恐ろしさですが、少女は現実の世界から脱出することを望み、迷宮の試練

に挑もうとします。暴行や殺戮が日常化した生活のなかで子どもはあまりにも無力であり、一方、迷宮ではたとえ子どもでも知恵や勇氣、機転によって、難しい課題を克服できる可能性があるからでしょう。

この映画の真の怖さは、戦争にしる虐待にしる、それはまさにわたしたちの社会で実際に起きている生々しい事実であり、それが迷宮の化け物たちよりもずっと恐ろしいことに観客が気づかされるリアリティにあります。過酷な現実には圧倒されてしまったとき、子どもにはファンタジーの世界しか逃げ込む場所がないことを体感し、切なく、つらい気持ちにさせられました。

2008年、世界中の子どもが現実の社会でひとりの人間として夢をもって生きられるようにと願わずにはられません。

(家庭児童相談室 相談員 砂川真澄)

家庭児童相談室の御案内

あなたの支えに…＊
家庭のこと、子どものこと、自分のこと



熊本学園大学付属社会福祉研究所 家庭児童相談室

家庭や家族に関する問題や、子どもさんのことについて
ご相談をお受けします。ご心配なこと、お困りなことが
ありましたら、お気軽にご利用ください。

受付 水曜日10:00～15:00/金曜日10:00～15:00
(12:00～13:00は昼休み)
年末年始、祝祭日は休みです。費用は無料です。

相談室電話 ☎ 096-364-8732

発行所 熊本学園大学付属社会福祉研究所

〒862-8680 熊本市大江2-5-1 ☎ 096-364-5161 (内線1753)

発行人 所長 豊田謙二 編集人 社会福祉研究所委員会

印刷所 コロニー印刷 ☎ 096-353-1291

